の結果概

〜洞爺湖町の子どもたちの学力向上を目指して〜

教育委員会教育推進課 74-3009

■問合せ

▼各教科の平均正答率・IRTスコア(令和7年度の中学校理科)

已上対策 児童

の概生

本年度の「中学校理科」は、インターネット回線を使い、同一問題(公開) と生徒ごとに異なる問題(非公開)で実施されました。このため、生徒一人 ひとりの学力を公平に確立するための IRT(項目反応理論) スコア (500 点 が基準)で表されています。

年 度		小学校			中学校		
		国語	算数	理科	国語	数学	理科
令和7年度	洞爺湖町	63.0	45.0	56.0	48.0	33.0	474 * 1
	北海道	65.0	55.0	56.0	54.0	47.0	505 * 1
	全国	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503 **1
令和6年度	洞爺湖町	67.0	61.0	57 %2	55.0	50.0	41 **2
	北海道	66.8	60.6	63 *2	57.6	51.0	49 **2
	全国	67.7	63.4	63.3 **2	58.1	52.5	49.3 *2

※1は I R T スコア。※2は令和4年度の平均正答率

習指導に関する学校質問調査を行い 習慣に関する児童・生徒への質問調査、

ま

全国

爺湖町では小学校3校(33名)、中学校2

の小学6年生と中学3年生が対象で洞 結果をお知らせします。調査対象は、 和7年度全国学力・学習状況調

査

校

(48名) の全5校が参加しました。

国語、

理科の学力調査と生活や学習

教科全体の状況

- 洞爺湖町 ╅ 北海道(公立) 🖜 全国(公立)

▼小学校

結果は、児童・生徒が身に付けるべき学力

一部分であることにご理解ください。

の全てを網羅するものではないため、

部に限られていること、また学習指導要領

学習の様子を幅広く把握することを目的

しています。

ただし、

対象となる教科は

要もお伝えします。

なお、この調査は、

児童

・生徒の学力

徒質問調査さらに当町の学力向

円形のグラフ)で学力の概要、

表のとおりです。また、レーダーチャ

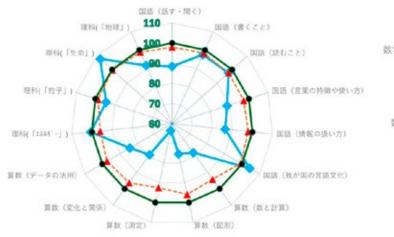
学力調査の結果 (平均正答率)

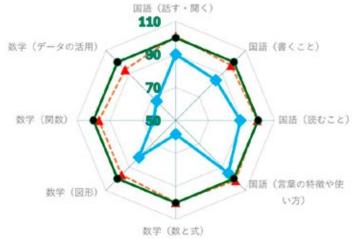
は下

記

1 0

▼中学校





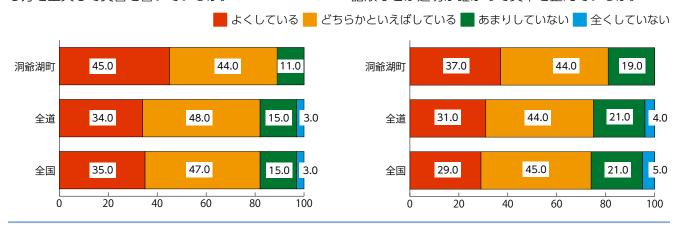
児童・生徒質問調査の状況

▼小学校

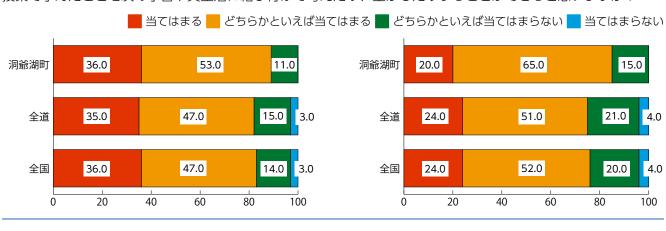
国語の授業で、目的に応じて簡単に書いたりくわしく 書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表 し方を工夫して文書を書いているか。

▼中学校

国語の授業で、文章を書いた後に読み手の立場に立っ て読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、 語順などが適切か確かめて文章を整えているか。



授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか?



ねによるものと考えられ を共有してきた取組の積み重

自然や人とのふれ

探究的

町内の教員が理論と実践

調 結 の 分

人ひとりに合った課題

13

は

①児童 国平均を上回る成果が確認さ 学校の「文章を書いた後に読 れました。こうした成果は、 た設問において、いずれも全 み手の立場で見直す」といっ るように工夫して書く」、 小学校の「自分の考えが伝わ 大学教員を招いた研修を通じ 生徒質問調査で

今後の学力向 上

生徒一人ひとりの学習履

歴

や解答傾

向を分析

Ü

適

※3)を活用して児童・ AI型学習支援システ 4 生 るシステムのことです。 な学習課題

り返りを大切にしてきたこ ともに全国を上回りました。 えた割合は、 学習や生活に生かせる」と答 えられます。 の学ぶ意欲につながったと考 活かした学習が、子どもたち こうした成果は、 そして地域の教育資源を 学びを生活につなげる工 授業で学んだことを次 小学校・中学校 授業後の振 **%** 3 あいを大切にしながら、社会 テムとは、 とつながる体験的・ を通して、 の仕組みを活用して、

習塾)を通じた学校外にお ④地域未来塾 学びを広げます。 継続します。 る学習支援事業などの取組 型学習支援シス (公設の無料学 け

解決し、得取り組み、 ます。 つなげ、 ジオパーク、 ③地域の教育資源(縄文文化、 たちが意見を伝え合い、 と話し合いながら課題を解決 ②調べたり考えを整理する場 ばします。 を深める力を育てます。 する授業を進めます。 面を効果的に展開し、友だち 環境等)を活かした学び 学ぶ習慣を身につ 得意な力をさらに伸 授業と家庭学習を わからないことを 防災、観光、 子ども 考え 産

宗す 最

や指導を提

児童

A

人工知能

Â